

取組事業の要旨		25年度計画	25年度実績	計画 & 実績																																																											
推進事業	事業内容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																
◇基本理念→みんながつながる、支え合い・助け合う三和をつくろう ◇基本目標→1)地域の誰もが互いに支え合うコミュニティづくり 2)地域のつながりを豊かにするための仕組みづくり 3)地域で安心して幸せに暮らすための基盤づくり ◇上記、三和地区第二次行動計画の骨子を踏まえた地域づくりを目指し、下記諸施策の推進に努める。		1)部会の適宜開催に注力し、チームワーク強化に努める。 2)情宣媒体である「さわかぜ」の積極的な活用をはかる。	1)全員参加での活動は出来なかったが部会員の協力が充分得られた。 2)フリーマーケットの出店募集、ポッチャ貸出のPRなど機関紙を有効活用した。	☆部会 ☆部会 ☆部会 ☆部 ☆部会 ☆部会 全員参加で優先事業により会議内容を決定して行く。 7/13顔合わせ 7年度計画について 8/24フリーマーケット事前検 9/14フリーマーケット開催会議 11/22フリーマーケット開催会議 3/8令和7年度総括会議 さわかぜを積極的に活用し地域全般に発信する。 ★7/17フリーマーケット開催とポッチャ貸出の広報をさわかぜに掲載依頼 ☆=計画、★=実績																																																											
I.地域福祉事業の推進	・地域組織(各小域福祉NW)との連携を強めた諸施策の前進に努める。	1)地域のつながりや助けあいの気運醸成と福祉財源の確保を目的にフリーマーケットの企画・運営に取り組む。	1)計画ではフリーマーケットを三和コミュニティまつりに参加の予定だったがサンハート内での要望があり協議の結果11/30に実施の決定をし開催に向けて出店の募集を行ない、社協、サンハートの存在を地区全体に理解してもらえるようPRをした。	⇔=計画 ➡=実績 フリーマーケット準備 11/5にフリマ開催チラシを三和地区全町会に配布 実施に向けて詳細を詰める 11/30サンハートで実施  																																																											
II.コミュニティづくり支援事業	・地域住民相互のつながりや支え合いのすけあコミュニティづくりを目指す取組みを支援。	1)共生型サロン発足への積極的な支援と実施しているサロンへのフォローをしていく。 2)子供の居場所づくりに対し、地域の諸事情を踏まえた取組みができるよう支援していく。	1)サロン・通いの場等でコミュニケーション作りを活用するためポッチャを購入し幅広い交流が出来る用にした。月2・3回の貸出があったが新規サロンの発足は無かった。 2)サロンの休日開催などを要望していく。	実施している地域を積極的に支援し普及拡大に取り組む。 共生型サロンなどを利用した地域の特性に合った取り組みを検討する。   ⇔=計画 ➡=実績																																																											
III.子育て世代支援事業	・子育て世帯減少の地域特性を踏まえ、対象層を地域から地区へと広げつつ、参加者の拡大と参加者同士のつながる力(連帯)を強める。	1)子育て世代を対象とした子育てサロンを事業として継承する。 2)対象層の利用拡大へ向け、PRの拡大、活動内容の充実へ努める。	1)スケジュール通りに実施できた、三和地区以外の参加者が多く見られる。今後も継続して行きたい。支援員の後継者不足になっているため今後、後継者の確保の問題が来ている。 2)三和地区以外の方の参加者が多く見られ口コミなどで広がりが出ている。	<24年度/子育てサロン「さんわ ぽかぽか」実行計画> <table border="1"> <tr> <td>☆</td><td>☆</td><td>☆</td><td>☆</td><td></td><td>☆</td><td>☆</td><td>☆</td><td></td><td>☆</td><td>☆</td><td>☆</td><td></td><td>☆</td><td>☆</td><td>☆</td> </tr> <tr> <td>4/28</td><td>5/26</td><td>6/23</td><td>7/28</td><td></td><td>9/22</td><td>10/27</td><td>11/17</td><td>12/22</td><td>1/26</td><td>2/16</td><td>3/16</td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>★</td><td>★</td><td>★</td><td>★</td><td></td><td>★</td><td>★</td><td>★</td><td>★</td><td>★</td><td>★</td><td>★</td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table> ☆=計画、★=実績 「さわかぜ」や利用者の口コミなどでPRニーズに合った内容にする。 参加者の口コミで輪が広がる用に充実した子育てサロンの実施 次年度計画案作成 クリスマスの実施 ⇔=計画 ➡=実績												☆	☆	☆	☆		☆	☆	☆		☆	☆	☆		☆	☆	☆	4/28	5/26	6/23	7/28		9/22	10/27	11/17	12/22	1/26	2/16	3/16					★	★	★	★		★	★	★	★	★	★	★				
☆	☆	☆	☆		☆	☆	☆		☆	☆	☆		☆	☆	☆																																																
4/28	5/26	6/23	7/28		9/22	10/27	11/17	12/22	1/26	2/16	3/16																																																				
★	★	★	★		★	★	★	★	★	★	★																																																				

取 組 事 業 の 要 旨		25年度計画	25年度実績	計 画 & 実 績											
推 進 事 業	事 業 内 容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
◇三和地区社協広報紙「さわかせ」の編集・発行	1)地区社協の動向を紙面を通じ地域住民に周知する。 2)紙面を通じ、地域福祉活動への理解と共感を深める。 3)話題性を高め、地域の主体的な自助努力の醸成を目指す。	1)従来通り年4回の発行を継続する(6・9・12・3月) 2)編集会議適宜開催し、発行時期に合わせたタイムリーな企画・記事とする。 3)地域に向いた取材に重きを置き、実情を重視する。	計画 ➡ 実績 ➡ <各号発行内容は以下>			☆35号 発行 予定			☆36号 発行 予定			☆37号 発行 予定			☆38号 発行 予定
		第35号	1頁→地区社協新年度体制について ・会長挨拶 ・地区社協組織図 2頁→各部会活動内容 3頁→各地区小域福祉ネットワークの活動内容 4頁→・フリーマーケット開催 ・出店者募集のお知らせ ・ポッチャ貸出のお知らせ ・子育てサロンのお知らせ ・サンハートからのお知らせ			◇企画会議 ← 原稿依頼及び作成		◇編集会議・初正 ◇二校	◇三校・入稿 ◇配付仕分け ◇発行						
		第36号	1頁→令和7年度事業から8年度 事業に向けて 2頁→・地区防災計画の策定に向けて ・民生委員児童委員の改選 3頁→小域福祉ネットワークの「歳末たすけあい運動」の紹介 4頁→・フリーマーケットへの参加 御礼 ・高齢者のための福祉便利帳作成のお知らせ ・子育てサロンのお知らせ									◇企画会議 ← 原稿依頼及び作成	◇編集会議・初正 ◇二校	◇三校・入稿 ◇配付仕分け ◇発行	

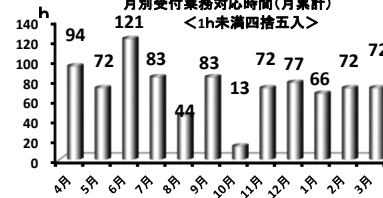
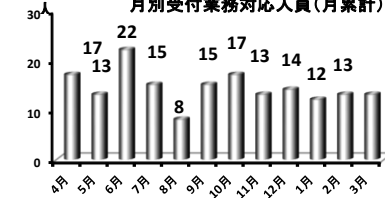
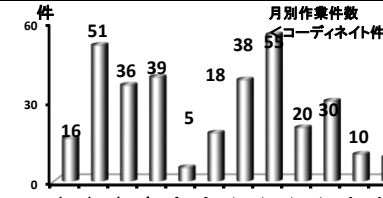
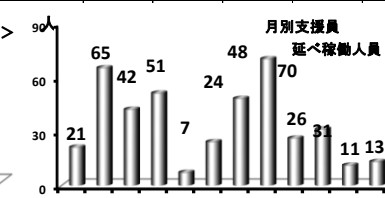
[illegible]

2025 年度 事業 報 告 (安 心 ・ 安 全 部)

取組事業の要旨		25年度計画	25年度実績	計 画 & 実 績											
推進事業	事業内容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
◇ 基本目標→みんなが安心・安全に暮らせる地域づくり 1) 地域住民の緊急時の対応体制の構築 (緊急時連絡カードの配布・更新) 2) 子供の安全・安心を守る活動の推進 (登下校の児童見守り・あいさつ・声掛け運動) 3) 地域の安全を守る活動の推進 (危険箇所の点検と改善、防犯パトロール) 4) 災害時のたすけあい活動の意識啓もう啓発、災害に強い地域づくり(災害支援ボランティア事業)		1) 市内各地協の取組み情報の収集(市社協との連携)をはかり、三和地区活動の向上に努める。 2) 部会の定期開催に注力し、地域の声を安心・安全部の活動に取込む。 3) 地域の防災意識の高揚を目指し、町会長会と連携した合同防災研修会を企画する。	1) 市内各地協の取組み情報は、その機会を得ず、次年度の課題とした。 2) 地域の防災意識の高揚を目指して、養老地区に地区防災計画の策定を立ち上げた 3) 防災研修会として「防災計画」についての研修会を開催しました。	☆=計画 ★=実績		☆No1 6/14 部会	☆No2 7/19部会 ★7/12 災害ボ ランティア 養成講 座		☆No3 9/20部会 ★9/13 防災計 画研修 会		☆No4 11/29部会 ★ 11/29 防災計 画勉強 会	★12/6 防災計 画WS (1)	★1/18 防災計 画WS (2)	★2/14 防災計 画WS (3)	
I. 地域の安心・安全を守る事業	1) 医療緊急時連絡カードの地区内全戸配布・更新を進める。 2) 高齢者宅への定期訪問活動を通じ、安心して生活できる地域づくりを進める。 3) 地域内の危険箇所等の点検活動を通じ、その改善に努める。	・2023年度に制定された第2次地区行動計画に沿って、左記事業は各ネットワークの主体的な取組みとして定着するに至っている。 ・したがって、安心安全部の機能としては、各ネットワークおよび安全施策に係わる団体との連携を主体とし、地区全体としての取組み状況をまとめることで、各活動の継続的な推進に努めるよう連携する。	I-1) 医療緊急カード更新実績 ・養老NW → 74戸 ・市西NW → 17戸 ・海上NW → 397戸(全世帯数分) ・光風台NW→約2500戸(全世帯数分) ・地区全体 → 2988戸 I-2) 安心生活見守り事業 ・養老NW → 371回 ・市西NW → 580回 ・海上NW → 181回 ・光風台NW → 674回 ・地区全体 → 1806回 I-3) 地域内危険箇所点検 ・養老地区にてDIG訓練を行いました。 II-1) 児童登校見守り事業 ・養老NW → 15回/年 ・市西NW → 1840回/延 ・海上NW → 25回/年 ・光風台NW→全登校日 II-2) 防犯パトロール ・光風台地区を重点に活動												
II. 子供の安全を守る事業	1) 児童の安全確保を目的に登下校時の見守り活動に取組む。 2) 防犯パトロール展開により、児童の安全確保に努める。														
III. 災害支援ボランティア事業	・災害時のたすけあい活動へ向けて、防災意識の啓発を目的とした学習活動を進める。	・災害発生時の避難所設置等、地域に於ける連携や協力のあり方を課題に検討をしたい。 ・上記と併せ、それぞれ地域や町会等の災害への備えを何う中で、広報部と連携した防災意識の高揚に努めたい。	iii 防災支援ボランティア事業 1) 災害ボランティア養成講座に参加して災害時の対応を検討しました。 2) 災害発生時の避難所設置等について検討する為、各地区に「地区防災計画」の策定を依頼し、養老地区が立ち上げました。				★7/12 災害ボ ランティア 養成講 座								

三和地区社協/年度事業報告様式

2025 年度 事業 報 告 (たすけあい 支 援 部)

取 組 事 業 の 要 旨		25年度計画	25年度実績	計 画 & 実 績																																											
推 進 事 業	事 業 内 容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																
◇現行三和地区行動計画基本理念 『みんながつながる、支え合い・助け合う三和をつくろう』 ＜基本理念に基づき下記を推進事業の柱とした活動を推進＞ ◇公的サービスではまかないきれない日常生活上の生活課題を解決するために、有償による住民相互のたすけあい運動に取組み、住民参加型の地域福祉活動を推進する。 ◇行動計画推進委員会とと整合により事業反映する。		1) 具体的取組みを推進するため部会を基軸とする。 2) 市内各地協の取組状況を部会・役員会へ反映し、活動の質的向上に努める。 3) 前年活動をベースに行動計画見直しに努める。	1) 情報共有し意思疎通を図るため3回/年の部会開催に取組んだ。 2) 7月にコーディネーター会議を早めに開催し円滑な支援活動の推進に努めた。 3) 他地区日常生活支援活動状況をもとに当番活動の在り方について検討した。	★計画 ★実績			★部会		★部会	★コーディネーター会議	★部会				★2/21 臨時部会	★3/11 部会																															
		I. たすけあい支援部員当番制による受付業務の継承	1) 登録部員15名中、13名で受付シフトを組み、月・水・金の9時～14時半での受付業務に対応した。(164名/年/延べ人員) 2) 受付業務対応時間は年間902.0時間(前年と同じ)	月別受付業務対応時間(月累計) <1h未満四捨五入>  月別受付業務対応人員(月累計) 																																											
		II. 『つなぐ』を基調に住民依頼を各コーディネータと調整する。 * コーディネータ不足を課題に対策を検討する。	1) 25年度依頼に基づく作業件数(コーディネイト件数)は、327件(対前年46件減)となり、今後更なるコーディネータの増員が望まれる。 2) 支援員(現在37名)の年間稼働人員累計は409人。月均等人員は34.08人が稼働	月別作業件数 <コーディネイト件数>  月別支援員 延べ稼働人員 																																											
		III. 依頼内容の分析に基づく今後の対応課題を整理する * 支援会員募集のPRを広報部と連携する。 * 制度利用者拡大に向けたPRを広報部と連携する。	1) 利用会員252名(対前年10名増)となり利用者は着実に増加し対象者を精査する必要も生じてきている。 2) PRでコーディネーター(前年7名→本年8名)、支援会員(前年37名→本年38名)と同じだったが更なる増員が必要である。	<地区別利用会員・支援会員・作業件数一覧> <table><tr><th></th><th>市西</th><th>養老</th><th>海上</th><th>光風台</th><th>地区計</th></tr><tr><td>利用会員数</td><td>58</td><td>38</td><td>15</td><td>141</td><td>252</td></tr><tr><td>支援会員数</td><td>8</td><td>6</td><td>7</td><td>16</td><td>37</td></tr><tr><td>作業件数</td><td>65</td><td>24</td><td>17</td><td>221</td><td>327</td></tr></table> <地区別支援会員の变化>()コーディネータ数 ※内数 <table><tr><th></th><th>市西</th><th>養老</th><th>海上</th><th>光風台</th><th>計</th></tr><tr><td>令和6年度</td><td>7(1)</td><td>7(2)</td><td>8(1)</td><td>15(3)</td><td>37(7)</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>8(1)</td><td>6(2)</td><td>7(1)</td><td>16(4)</td><td>38(8)</td></tr></table> ★7月 * 三和地区全町会に回覧を通じ たすけあい三和の活動内容のPR及び支援員募集を行った。(さわかぜ) ★11月 * 地区社協主催フリーマーケットにて広報部・地域づくり部と共にPR ★4～ * 地区担当コーディネーターから友人知人を勧誘			市西	養老	海上	光風台	地区計	利用会員数	58	38	15	141	252	支援会員数	8	6	7	16	37	作業件数	65	24	17	221	327		市西	養老	海上	光風台	計	令和6年度	7(1)	7(2)	8(1)	15(3)	37(7)	令和7年度	8(1)	6(2)	7(1)	16(4)	38(8)
	市西	養老	海上	光風台	地区計																																										
利用会員数	58	38	15	141	252																																										
支援会員数	8	6	7	16	37																																										
作業件数	65	24	17	221	327																																										
	市西	養老	海上	光風台	計																																										
令和6年度	7(1)	7(2)	8(1)	15(3)	37(7)																																										
令和7年度	8(1)	6(2)	7(1)	16(4)	38(8)																																										
		IV. 市原市第6次地域福祉活動計画及び第2次三和地区行動計画に即し、地域のつながりを豊かにするための仕組みづくり(共創)実現に向けた取組みを推進する。	1) 現支援活動の検証を基に新たな支援活動の可能性について検討。各種研修会等々にCNの積極参加 2) 継続的な活動支援のため支援会員増員の取組みをした。 3) 地域で孤立しない取組みのPRに努めた。	★7/31	市社協主催の交流会(日常生活支援事業担い手養成講座)で「たすけあい三和」の活動状況を報告するとともに市内各種団体と語らい、情報交換を行った。																																										
				★7・9・12	小域NW草刈り活動へ参加や民児協支援部会にて「たすけあい三和」の存在をPR。																																										
				★2/9・2/26	辰巳台ねこの手に指南を受けたり、五井地区社協に「たすけあい三和」の説明会実施																																										

[illegible]

取組事業の要旨		25年度計画	25年度実績	計画 & 実績												
推進事業	事業内容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
◇養老小学校区小域福祉ネットワークとして、10町会の連携強化の下、学童および地域住民の福祉の向上に取組む。 ◇具体的な地域福祉施策として、以下、4点を事業の柱とする。	1)学区である養老小学校と連携して児童の安全と安心を推進する。 2)地域住民の安心・安全の福祉活動を推進する。 3)高齢者の健康寿命を念頭に福祉サービスの提供とその質的向上を目指す。	1)各事業を推進する為、次の会議を設置して運営していく。 ①小学校との事前協議 ②役員会(5回/年) ③推進委員会(2回/年) ④町会長会議(1回/年) ⑤町会長・民生委員会議(2回/年)	1)各事業を推進する為、次の会議を開催した。 ①小学校との事前協議 ②役員会(2回/年) ③推進委員会(2回/年) ④町会長会議(1回/年) ⑤町会長・民生委員会議(1回/年)	☆4/19 役員会 ★4/19 役員会 ☆=計画 ★=実績	☆5/17 推進委員会 ★5/17 推進委員会	☆6/21 役員会 ★5/17 役員会	☆7/12 役員・町会長会議 ★7/21 役員・町会長会議		☆9/13 役員会	☆10/18 役員・町会長・民生委員会議 ★10/18 役員・町会長・民生委員会議	☆11/15 役員会	☆12/6 役員・町会長・民生委員会議		☆2/14 役員会	☆3/7 推進委員会 ★3/7 推進委員会	
I.児童福祉事業	◇学区である養老小学校と連携した児童福祉施策の推進。	1)児童登校見守りを月次ペースで実施する。 2)学校・PTAと連携し、環境美化作業に取り組む。 3)学校行事・世代間交流により児童福祉教育の促進。	1)児童登校見守り ・回数15回/年・人数 ・人数 384人 2)環境美化作業 ・回数2回/年・人数138名 3)学校行事と連携した児童福祉活動実施(1回/年) (世代間交流事業)(1/28)	☆4/8 9・10・11 ★4/8 9・10・11	☆5/9 ★5/9 5/10 除草作業 ★5/11 除草作業	☆6/10 ★6/10	☆7/10 ★7/10		☆9/1・10 ★9/1・10	☆10/15 ★10/15 ☆10/25 枝切作業 ★10/25 中止	☆11/10 ★11/10	☆12/10 ★12/10	☆1/6 ★1/6 ★世代間交流1/28	☆2/10 ★2/10	☆2/10 ★3/10	
II.地域福祉事業	◇「緊急時連絡カード」を各家庭に常備更新。	1)各町会長に「緊急時連絡カード」の更新の案内を各町会に回覧する。 2)追加・更新の要請に基づきカード・保管筒・表示ステッカーを配布する。	1)各町会長に「緊急時連絡カード」の更新の案内を各町会に回覧した。 2)配布実績 ・緊急時連絡カード 74枚 ・保管筒 56本 ・ステッカー 74枚				取組推進期間 ↔ 取組実施期間 ↔									
III.高齢者福祉事業	◇安心生活見守り訪問制度の遂行。	1)新規訪問員認定講習実施。 2)訪問員活動の管理及び情報の交流。 3)訪問員フォローアップ研修の実施。	1)新規訪問員基礎研修実施 3回/年 4人 2)訪問員活動実績回数 ・訪問員数24 ・訪問対象者21名 ・訪問回数 371回 3)訪問員フォローアップ研修 ・3/7(土) 19名 訪問員の相談内容について	☆訪問員認定講習		☆ 訪問活動/各訪問員単位1～2回/月を計画 ★ 訪問活動/核訪問員単位1～2回実施									☆安心訪問員フォローアップ研修 ★安心訪問員フォローアップ研修(3/7)	
				↔												
				★基礎研修(5/1)									★基礎研修(12/12・12/24)			
IV.地域活性化事業	◇「ようろう絆の会」として、歳末福祉事業を企画・実践する。 ◇高齢者福祉と地域活性化のためサロン事業と公共交通対策に取り組む。	1)「ようろう絆の会」として、歳末福祉事業の企画・運営。 2)公共交通を充実させて、他地域との交流を深める。 3)サロンの地区内での水平展開をしていく。	1)「ようろう絆の会」として12/20に高齢者46名にマスク・クリスマスカードを渡し、見守りを密にした。 2)移動販売を各水曜日、大桶・川在・新巻地区にて実施した。 3)サロン事業は、川在・新巻・山田地区で展開中。													
				↔							公共交通を充実させて・他地域との交流を深める ★市西・海上・光風台地区に検討依頼中	↔				
				↔							サロン事業の水平展開 他地区へ検討依頼中。	↔				
													☆歳末福祉事業企画 ↔ ★12/20(日)高齢者へプレゼント渡し			
V.地区防災計画策定推進事業	◇地区の特性に応じた災害リスクを把握する。 ◇災害が発生した時に、安否確認・避難方法・避難所の開設について共助による防災対策の充実強化を図る。	1)地区の危険箇所を、ハザードマップ・DIG訓練で把握する。 2)安否確認・避難誘導について平時に確認しておく。 3)避難所については、避難所運営委員会を立ち上げ、平時から訓練する。	1)策定メンバーのワークショップでDIG訓練を行い危険箇所を把握した。 2)策定メンバーのワークショップで避難誘導について議論する。 3)避難所については、HUG訓練を実施。													
				↔ 地区防災計画立ち上げ ↔												
									★9/13 防災計画 研究会			★11/29 防災計画 勉強会	★12/6防 災計画 WS1	★1/18防 災計画 WS2	★2/14 防災計画 WS3	★3/7 防災計画 素案検討

取組事業の要旨		25年度計画	25年度実績	計画 & 実績（見える化）											
推進事業	事業内容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
◇ネットワークを構成する地区14町会と連携し、小域圏における地域福祉事業を促進する。 ◇具体的な地域福祉事業は、児童・高齢者の見守り活動を基軸とし、以下、4点を事業の枢軸とする	1) 地域住民への福祉に資する諸施策の企画・立案・推進 ① 小学校との連携協議 ② 役員会（5回/年） ③ 推進委員会（4回/年）	1) 各事業の推進に向け、以下の会議体を運営する。 ① 小学校との連携協議 ② 役員会（5回/年） ③ 推進委員会（4回/年）	計画通り実施済み ① 推進委員会には小学校校長或いは、教頭が出席し、協議などを行う。 ②、③ 計画通り開催 ④ 新・旧民生・児童委員の引継ぎ及び研修を12/7実施	役員会計画→ 推進委員会 計画↓ ★4/20 ☆＝計画 ★＝実績		★6/9 役員会			★9/9 役員会			★12/8 役員会		★2/2 役員会	★3/9 役員会
I. 児童福祉事業	◇ 学区である光風台小学校と連携した児童福祉施策の推進。 ◇ 校庭の美化運動	1) 児童登校見守りを月次ペースで実施する。 2) 学校・PTAと連携し、環境美化作業に取り組む。	計画通り実施済み 1) 全登校日の下校時見守り実施 2) 校庭の美化運動実施 入学式、卒業式、運動会には、NW会長が出席												
II. 地域福祉事業	1) 防災マニュアル作成 2) 福祉講座の開催	1) 地区災害対応マニュアルの配付 2) 研修会の実施	計画通り実施済み 1「災害対応マニュアル」を策定、4/20に全世帯に配布 2) デマンド型乗り合いタクシーについて市から説明会を実施												
III. 高齢者福祉事業	1) 通いの場事業「光風台ふれあいサロン」の支援 2) 通いの場事業「丘の上サロン」の支援 3) クリスマス菓子の宅配 4) 買い物支援「買い物ツアー」の実施	1) 「光風台ふれあいサロン」月に4回程度光風台自治会館で軽い体操・筋トレ・脳トレ等を実施。 2) 「丘の上サロン」月に4回程度百合ヶ丘公民館で軽い体操・筋トレ・脳トレ等を実施。 3) 年末に担当民生委員が、「クリスマス菓子」と光風台小児童が作成した「クリスマスカード」を高齢者に宅配する。 4) 買い物弱者のため、「光風台～しげのや」の間で「ケアハウス向日葵」提供のワゴン車を利用する。	計画通り実施済み 1) 「光風台ふれあいサロン」参加登録人数：30名 実施日：毎週土曜日実施 1回の参加人数：25～30名 2) 「丘の上サロン」参加登録人数：23名 実施日：毎週金曜日 1日の参加人数：18～23名 3) 「クリスマス菓子」と「クリスマスカード」の宅配 実施日：12/13～12/24 対象者：250人 4) 「買い物ツアー」利用登録人数：15名 実施日：第2、第4木曜日の2回/月（便数は各日に3便） 5) 「安心生活見守り支援活動」 ・見守り活動 ・安心訪問員フォローアップ研修 ・安心訪問員研修（新任民生・児童委員対象）、												
IV. 地域活性化事業	1) 広報紙「あったか福祉光風台」の発行 2) 光風台団地内の迷惑駐車追放運動の実施 3) 移動販売「ふれあい便」 4) 秋季フリーマーケット開催	1) 広報紙「あったか福祉光風台」25号、26号の発行 2) 迷惑路上駐車を無くすため、ちらし、ポスター等を作成し、啓発に務める。 3) 移動販売車の運行を継続。 4) 秋期フリーマーケットを開催。	計画通り実施済み 1) 広報紙「あったか福祉光風台」25号、26号の発行 2) 10月に「迷惑路上駐車追放（ポスター、回覧、を掲示 3) 毎週月曜日午後「移動販売車運行」の実施 4) 11/9「フリーマーケット」開催 出店数：14店 来店者数：130名												